

# グラフで見る東海経済(2021年7月)

2021年7月29日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

## 今月の景気判断 ~新型コロナ<sup>\*</sup>の影響で厳しい状況にあるが、持ち直し基調

### 【今月のポイント】

- 生産(5月)は、輸送機械、汎用・生産用・業務用機械、電気機械等の減少により3ヶ月ぶりに減少となった。
- トヨタの国内生産は持ち直しが見込まれており、東海の生産全体も持ち直しが見込まれる。
- 実質輸出(5月)は2ヶ月連続で減少となったが、先行きは生産同様、持ち直しが見込まれる。
- 今年度の設備投資は、前年比増加が見込まれている。
- 財の消費を示す小売売上は、総じて弱含み。

項目	現状
景気全般	新型コロナの影響で厳しい状況にあるが、持ち直し基調
生産	持ち直し基調
輸出	持ち直している
設備投資	持ち直しの動きが見られる(↑)
雇用	弱い動きとなっている
賃金	減少している
個人消費	弱含んでいる
住宅投資	横ばい
公共投資	横ばい圏で推移している

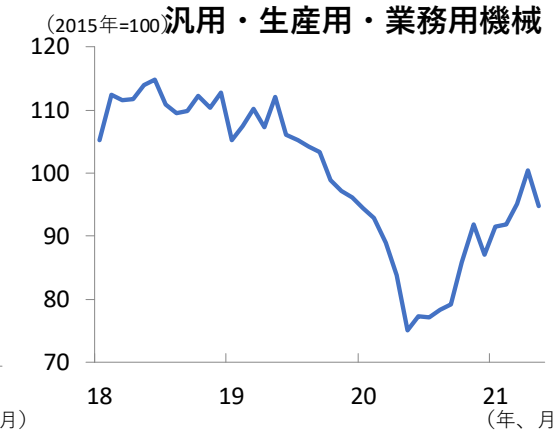
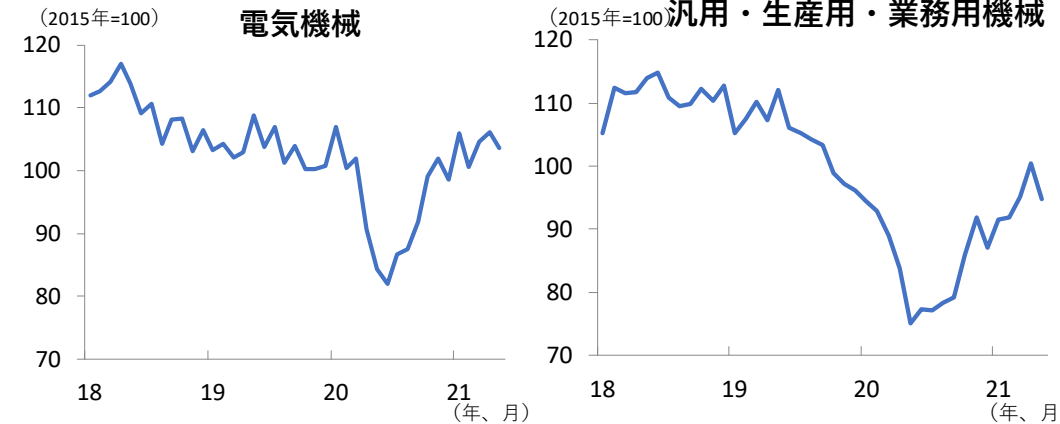
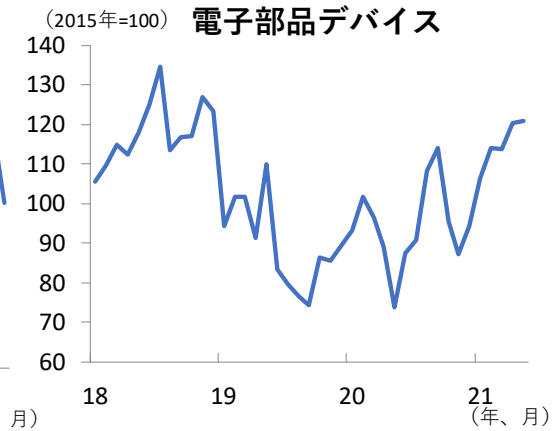
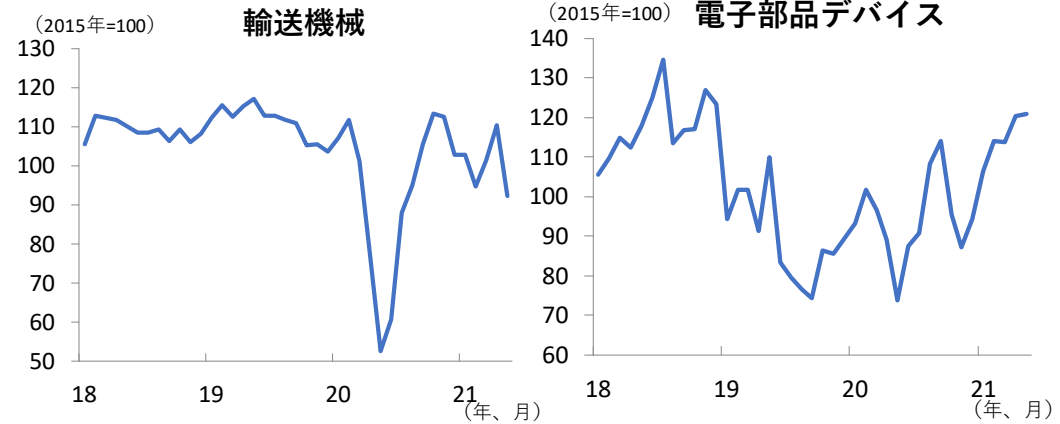
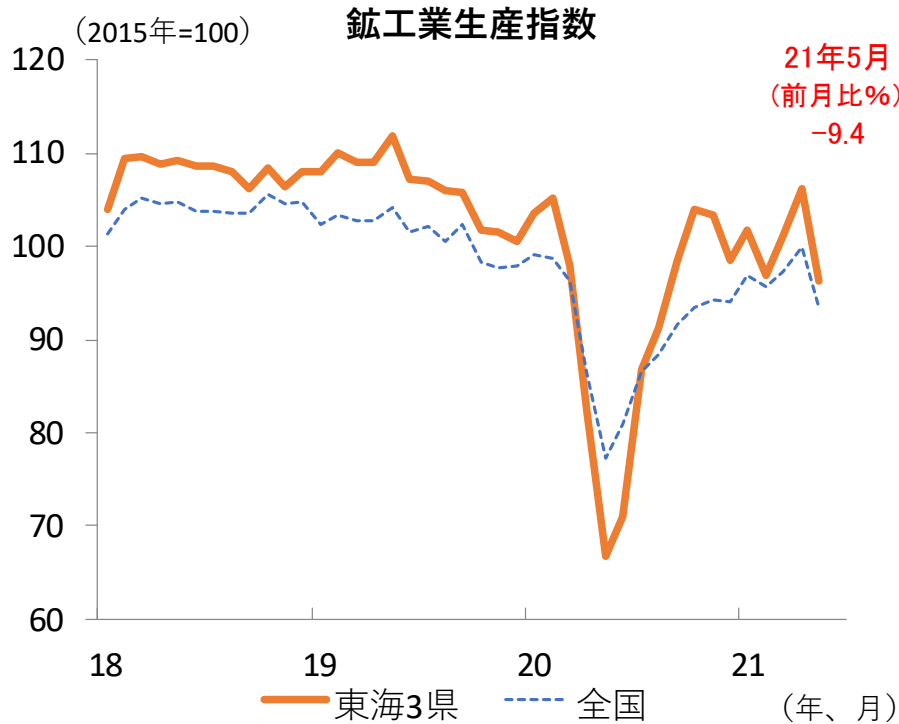
注: ( )内は前月からの変化の方向

設備投資は、前月の「弱含んでいる」から上方修正(↑)

※従来は「新型コロナウイルス感染症」としていたが、今月より「新型コロナ」とした。

# 生産

5月の鉱工業生産(東海)は前月比-9.4%と3ヶ月ぶりに減少。業種別では輸送機械、電気機械、汎用・生産用・業務用機械などが減少した。先行きについては、輸送機械を中心に持ち直しが見込まれる。

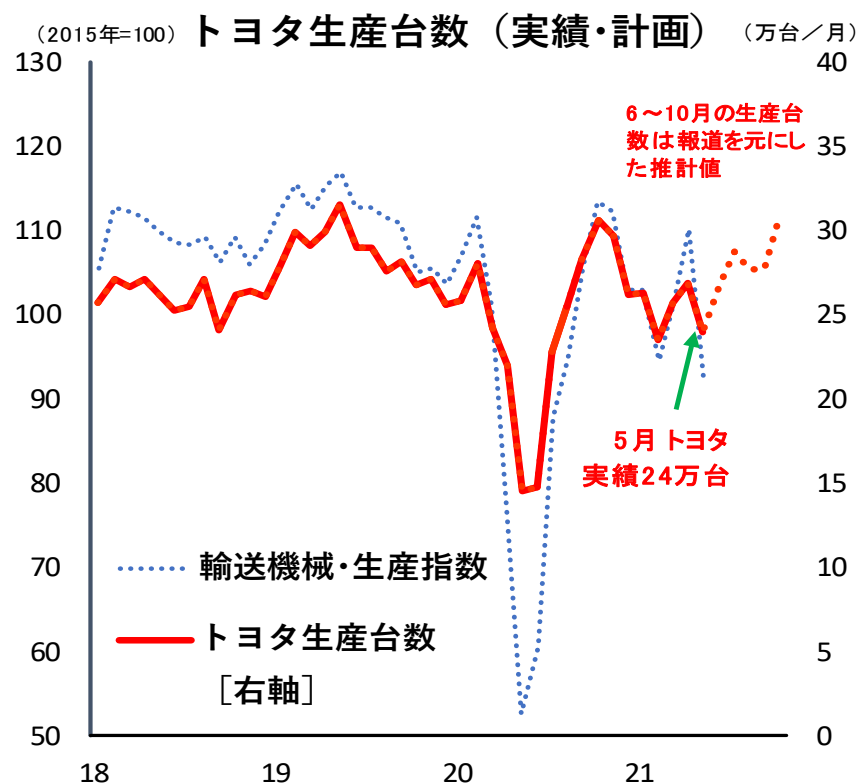


(出所)経済産業省「鉱工業生産動向」

## 生産（トヨタ生産計画、金属工作機械）

5月のトヨタ生産台数(弊社季節調整値)は、24万台と前月から減少した。先行きは、東南アジアのコロナ感染拡大による減産の懸念があるものの、好調な世界販売を背景に持ち直しが見込まれている。

5月の金属工作機械受注は、前年比+105.1%と4ヶ月連続で前年を上回った(一昨年比では-6.4%)。国内向けは同+64.9%と2ヶ月連続で増加し、海外向けは同+124.2%と7ヶ月連続で増加した。



(注)トヨタ生産台数の季節調整は当社、輸送機械・生産指数は東海3県(出所)中部経済新聞、中部産業局「鋳工業生産指数」、鉄鋼新聞 (年、月)

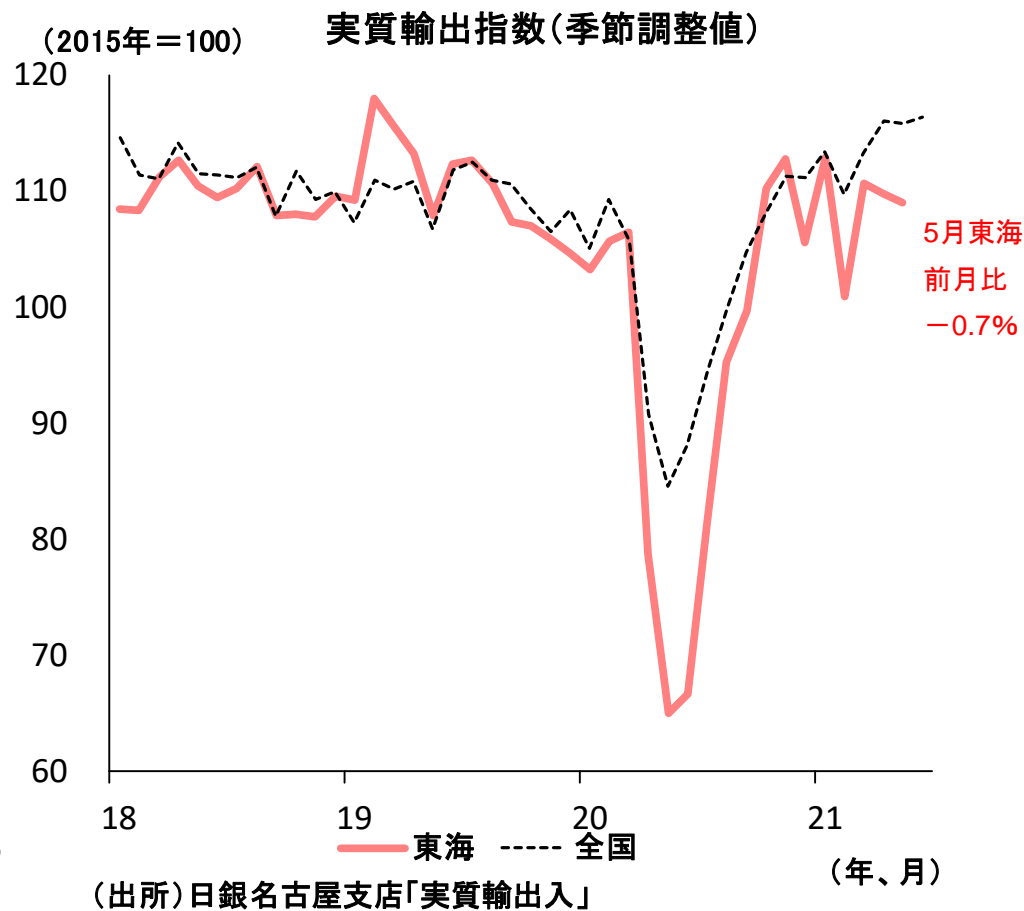
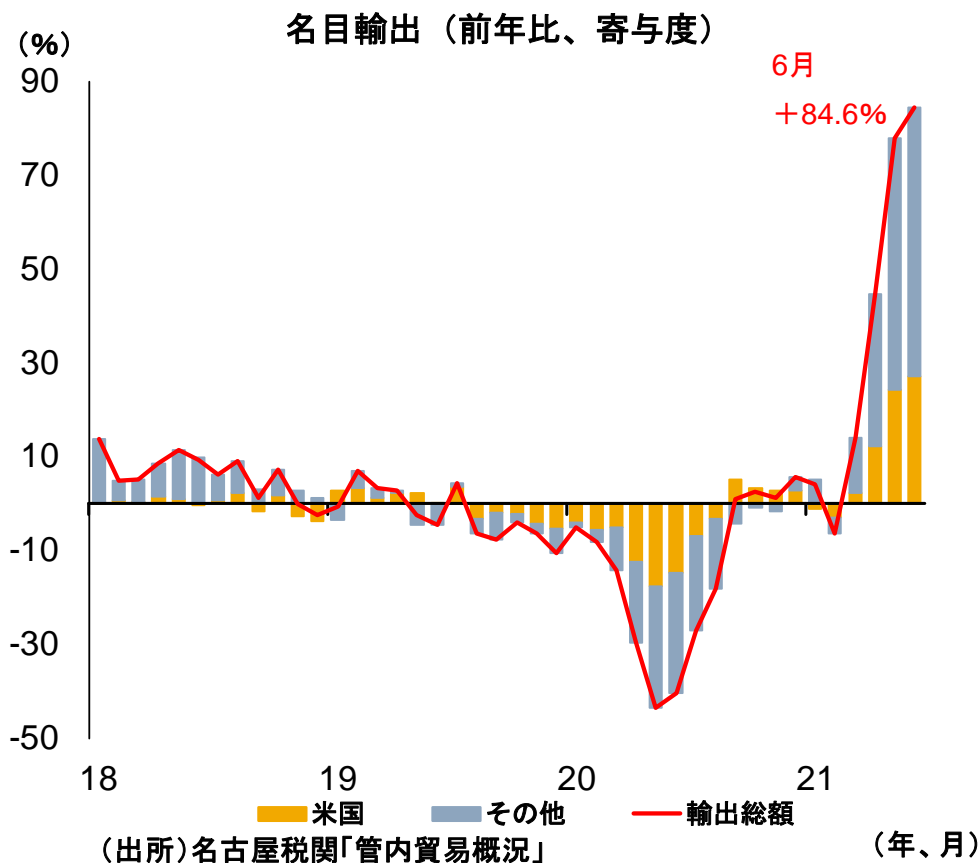


(出所) 中部経済産業局「金属工作機械受注」 (年、月)

# 輸出

6月の名目輸出額は、前年の水準が低かったこともあって、前年比+84.6%と4ヶ月連続で大幅増(一昨年比では+10.0%)。地域別では米国、アジア、EUなど主要地域向けが、品目別では自動車部品、自動車などが増加した。

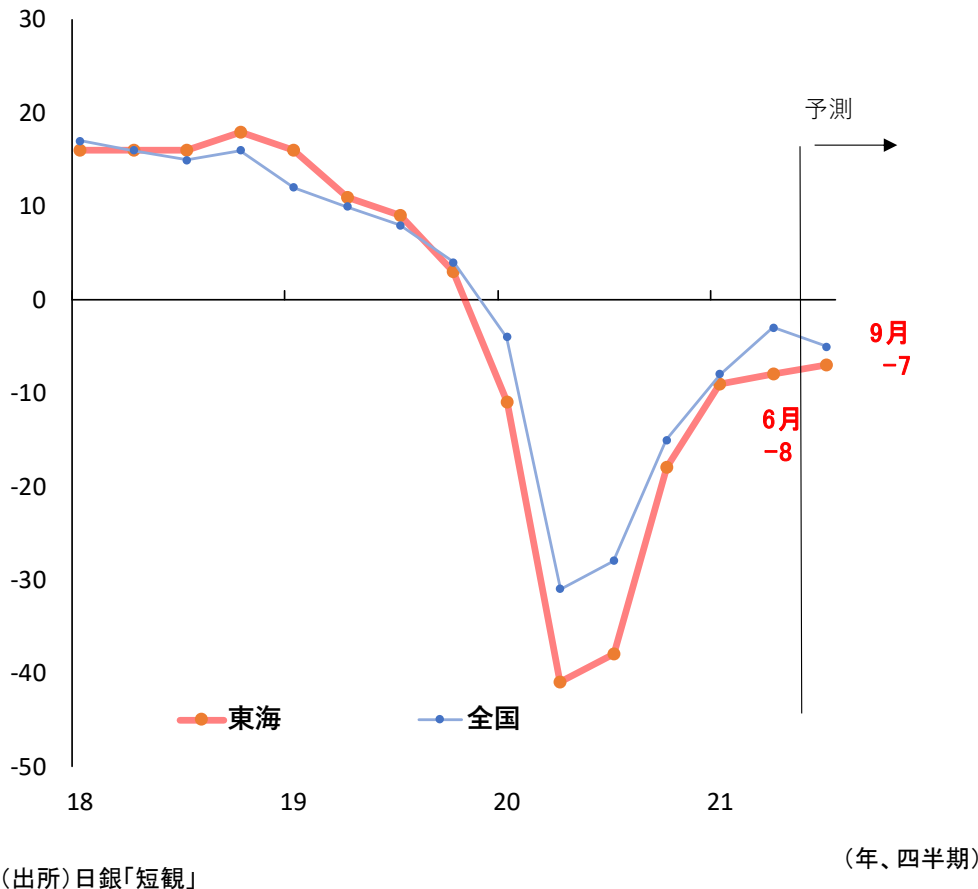
5月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比-0.7%と2ヶ月連続で低下した。



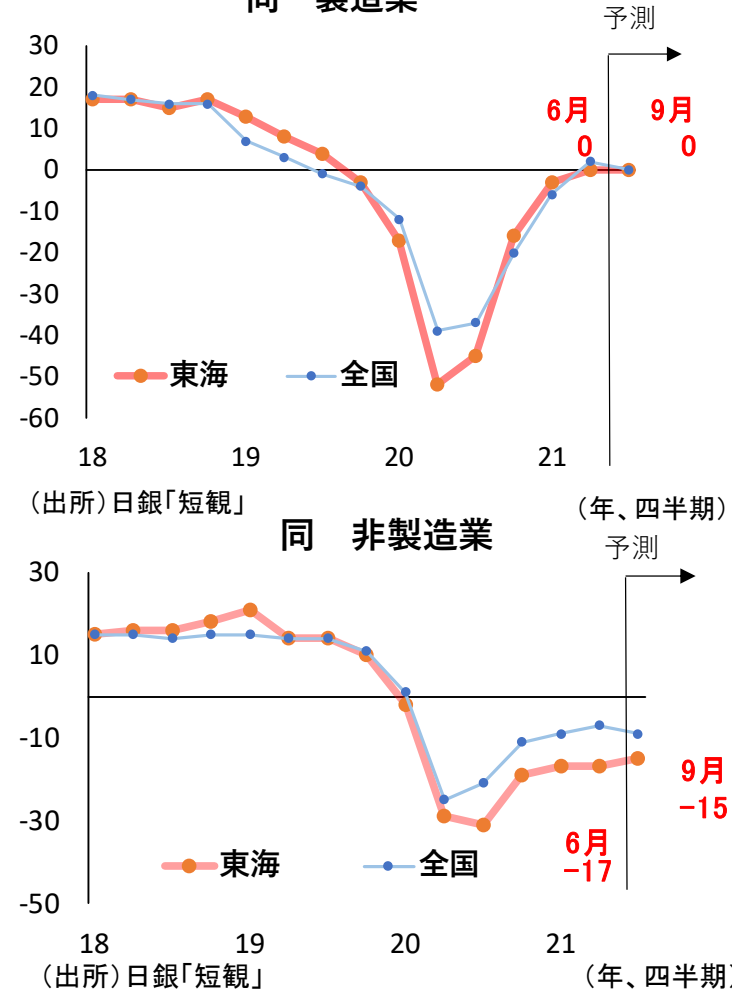
# 企業景況感(日銀短観)

日銀短観6月調査の業況判断DIIは全産業で-8と、3月調査から小幅改善した。製造業は0と小幅改善、非製造業は-17と横ばいであった。先行きは、製造業は横ばい、非製造業で小幅改善が見込まれている。

短観 業況判断D I 「全産業」

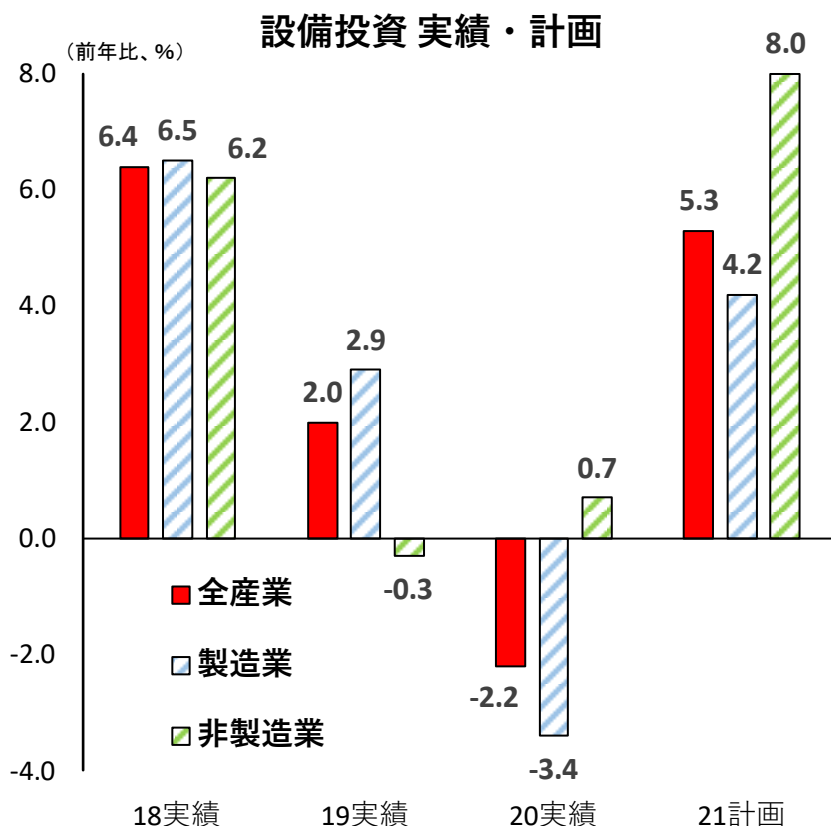


同 製造業



# 設備投資

日銀短観6月調査によると、20年度の設備投資実績は、製造業が前年比減(-3.4%)となり、全産業でも減少となった(-2.2%)。21年度は、製造業、非製造業ともに前年比増加(+4.2%、+8.0%)が見込まれている。製造業に比べ、非製造業が強めの計画となっている。



設備投資額 (前年比%)

	20年度 実績	21年度 計画		
		今回	3月調査時 [差異]	
全産業	-2.2	5.3	0.4	4.9
製造業	-3.4	4.2	-0.3	4.5
非製造業	0.7	8.0	2.0	6.0

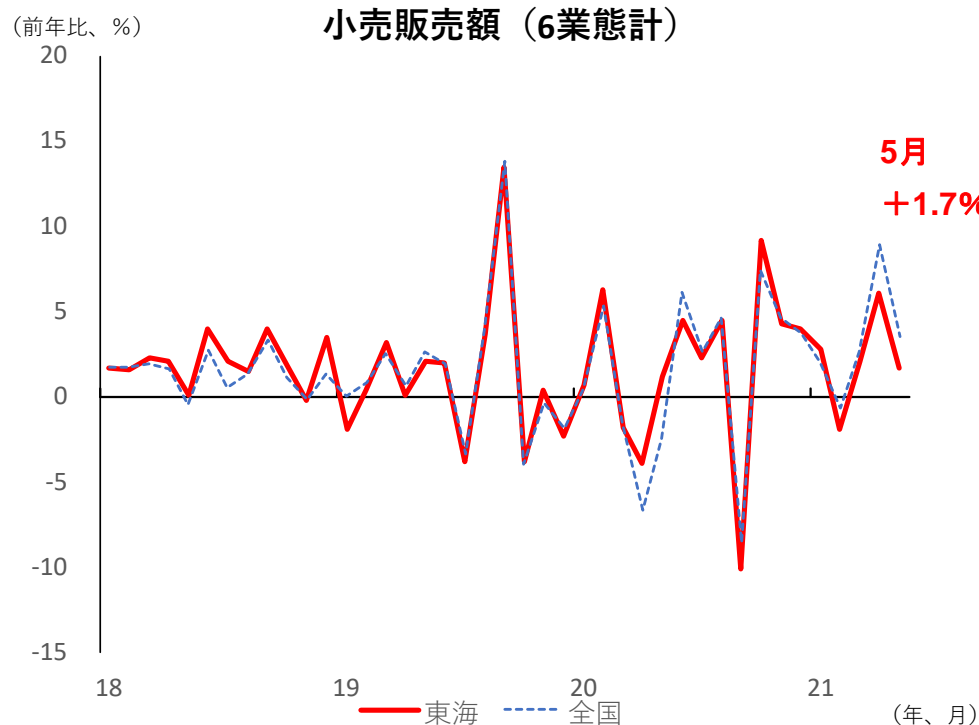
(出所)日銀名古屋支店「短観」

(年度)

## 個人消費(小売売上、自動車販売)

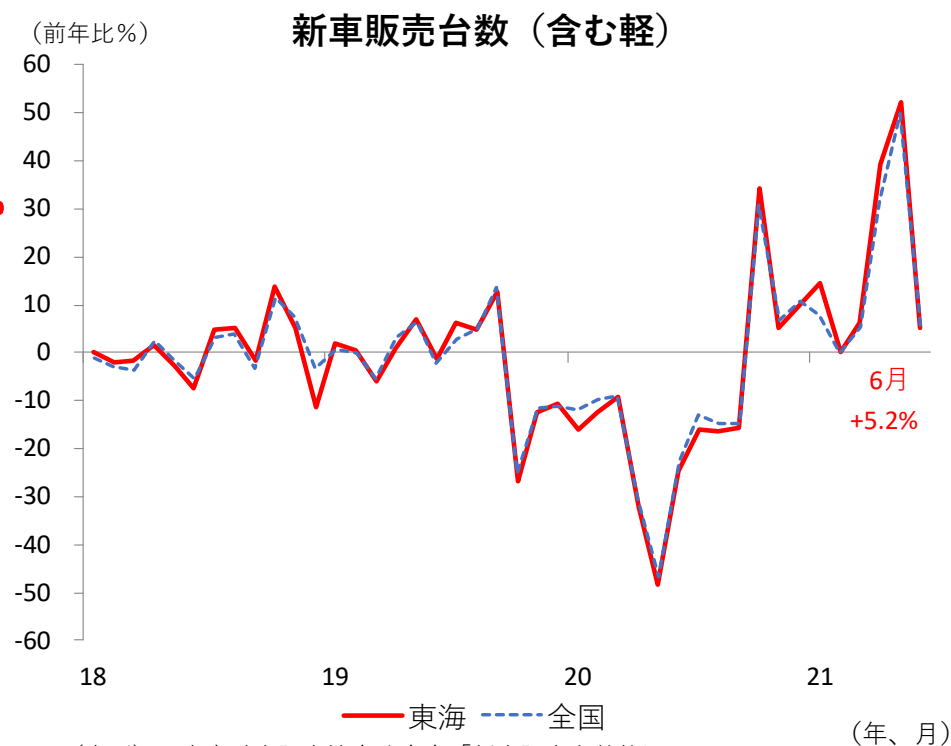
5月の小売販売額は前年比+1.7%と3ヶ月連続で増加した(一昨年比では+2.9%)。百貨店、コンビニが増加した。

6月の新車販売は前年の水準が低かったこともあり前年比+5.2%と4ヶ月連続で増加したが、一昨年比では-19.3%と基調は強くない。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計



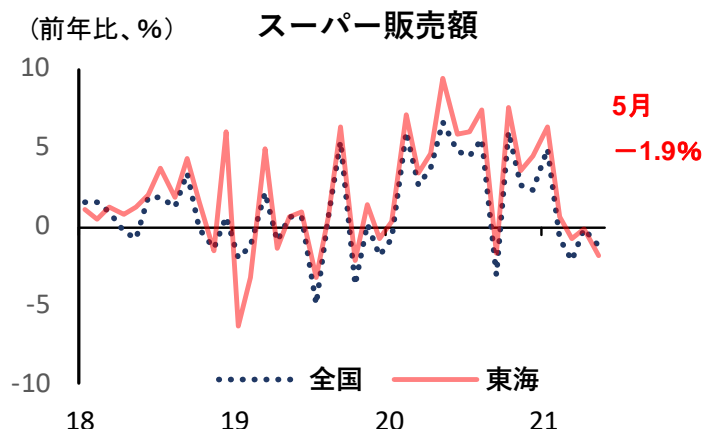
(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

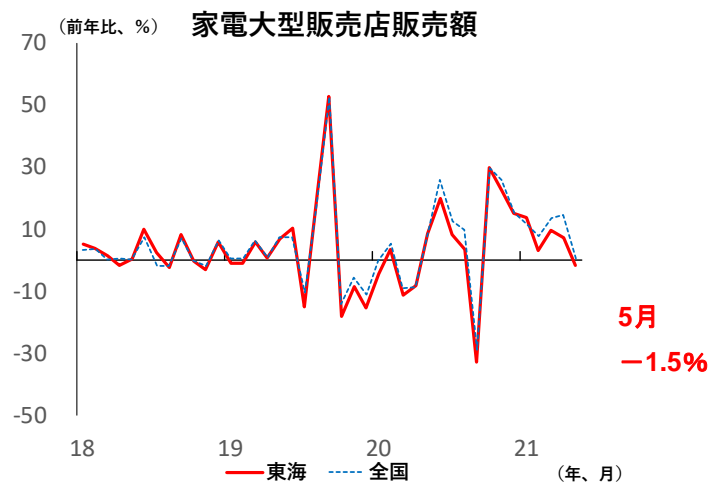


# 個人消費(業態別)

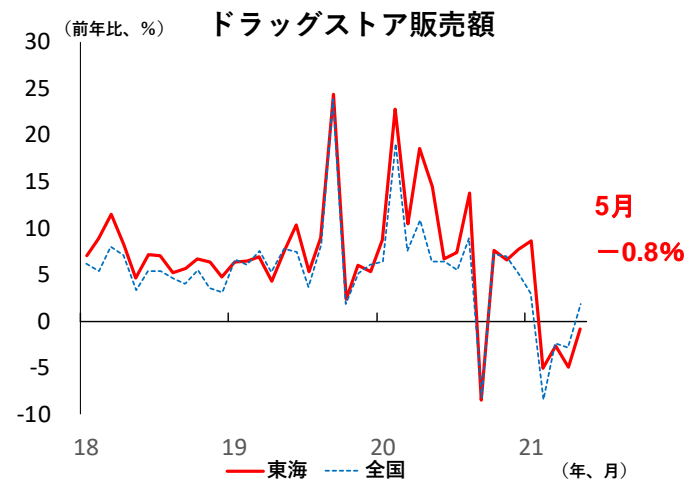
家電販売店(5月)が8ヶ月ぶりに前年比で減少した。前年の水準が5月としては高めであったことが影響した。6月の百貨店売上(名古屋)は前年比-6.8%と4ヶ月ぶりに減少。一昨年比でも-23.1%減と大幅減が続いており、基調は弱い。



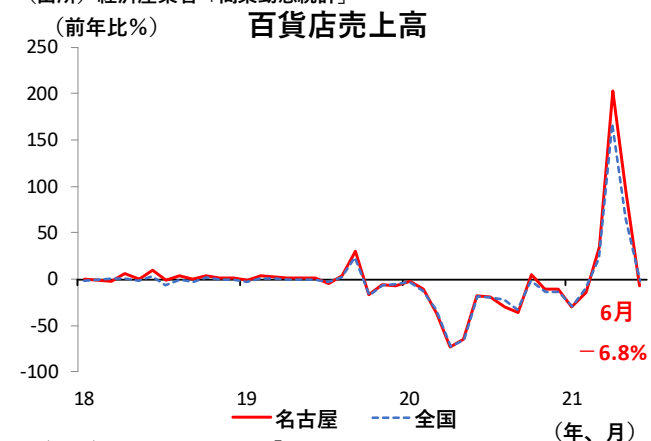
(出所) 経済産業省「商業販売動態統計」 (年、月)



(出所) 経済産業省「商業動態統計」



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

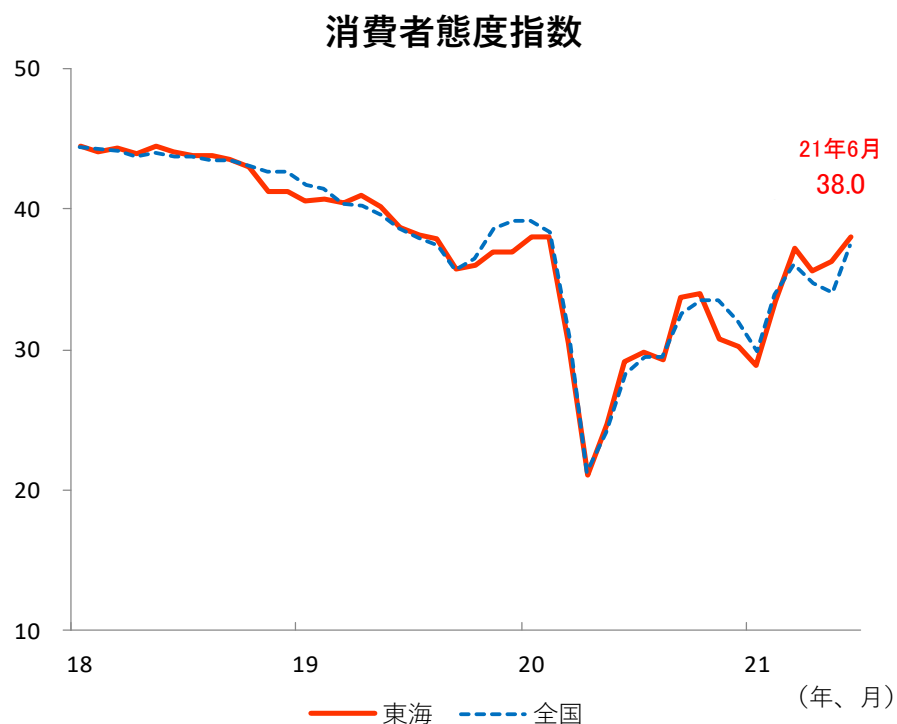


(出所) 日本百貨店協会「百貨店売上高」

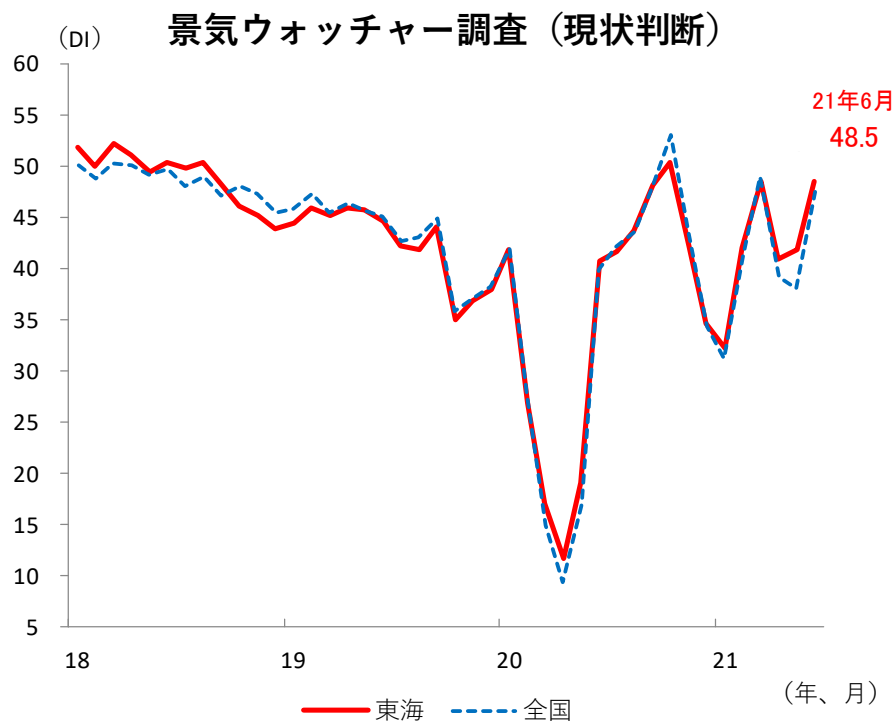
(注) 店舗調整後前年比

# マインド・景況感

6月の消費者態度指数は38.0(前月差+1.7%pt)と2ヶ月連続で上昇した。  
6月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、48.5(前月差+6.7%pt)と2ヶ月連続で上昇した。6月の緊急事態宣言の解除やワクチン接種の進展が景況感の改善につながった。先行きについては、ワクチン接種が進むことによる改善が期待されている。



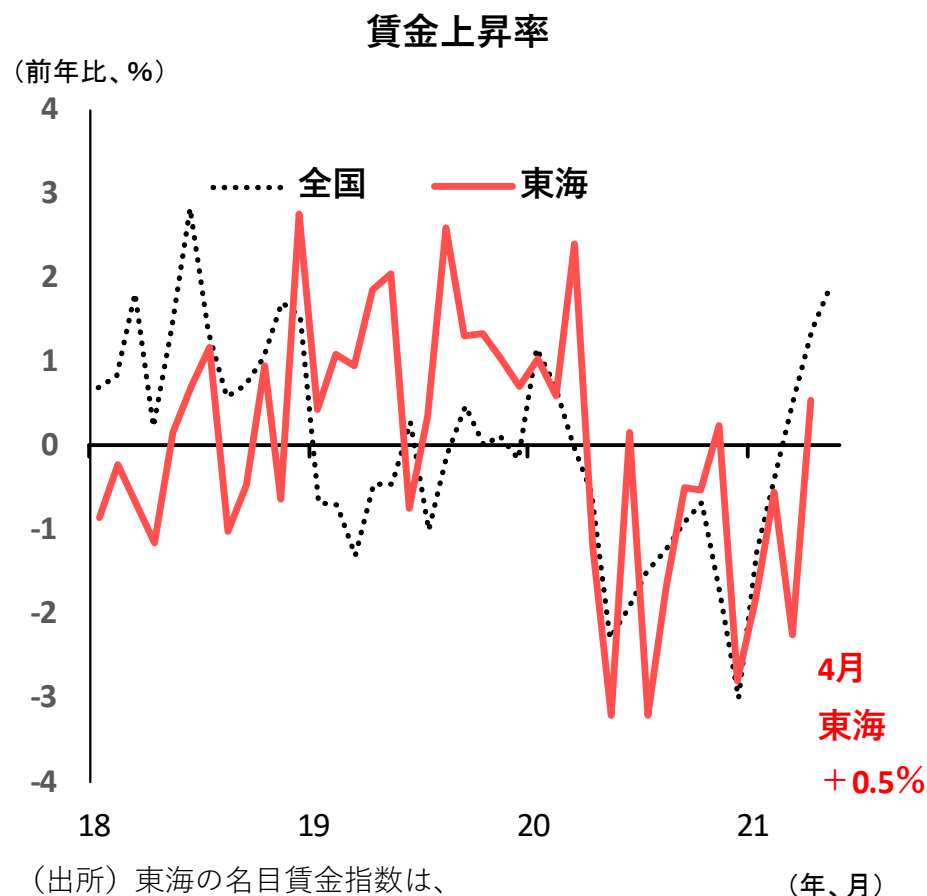
(注)東海の季節調整値はMURC試算  
(出所)内閣府「消費動向調査」



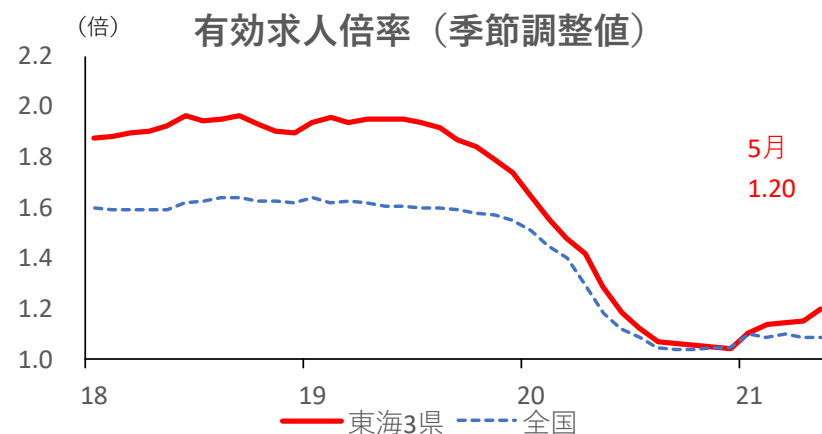
(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

# 賃金・雇用

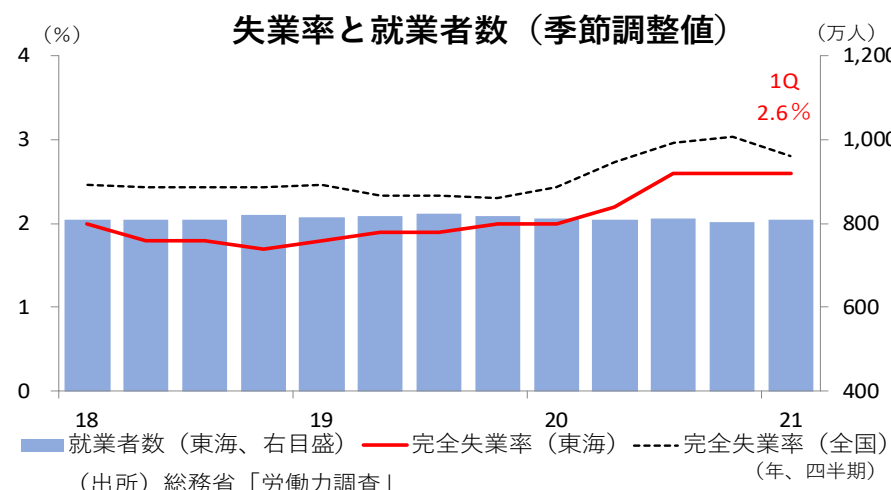
4月の名目賃金指数は、前年比+0.5%と5ヶ月ぶりに上昇した。  
 5月の求人倍率は1.20と、このところ小幅ながら上昇が続いている。  
 21年1-3月期の失業率は2.6%と横ばい。就業者数は小幅増加した。



(出所) 東海の名目賃金指数は、  
愛知、三重、岐阜の指数よりMURC作成



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

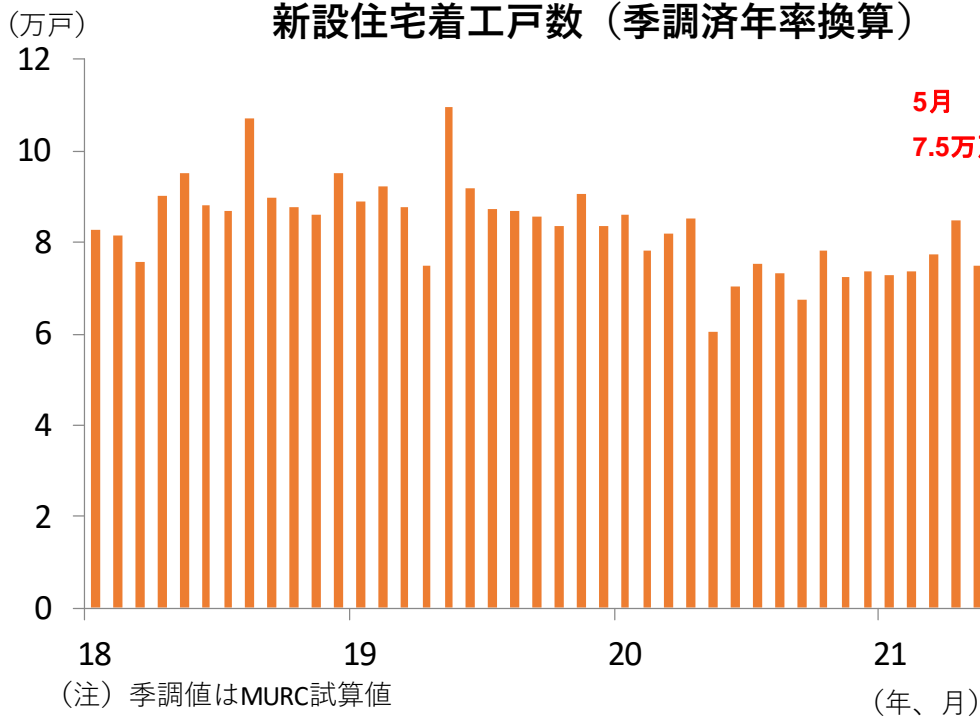


(出所) 総務省「労働力調査」

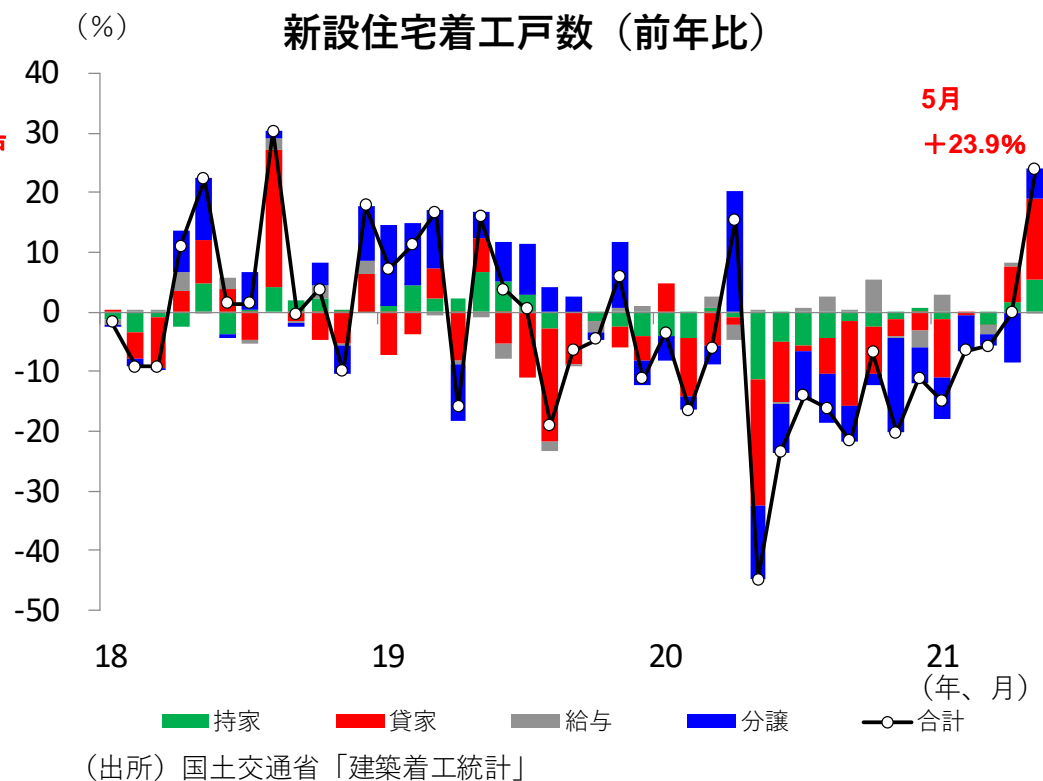
# 住宅投資

5月の住宅着工は季調・年率で7.5万戸と4ヶ月ぶりに減少した。原数値では前年が低水準であったため前年比+23.9%となったが、5月としては水準は高くない。

新設住宅着工戸数（季調済年率換算）

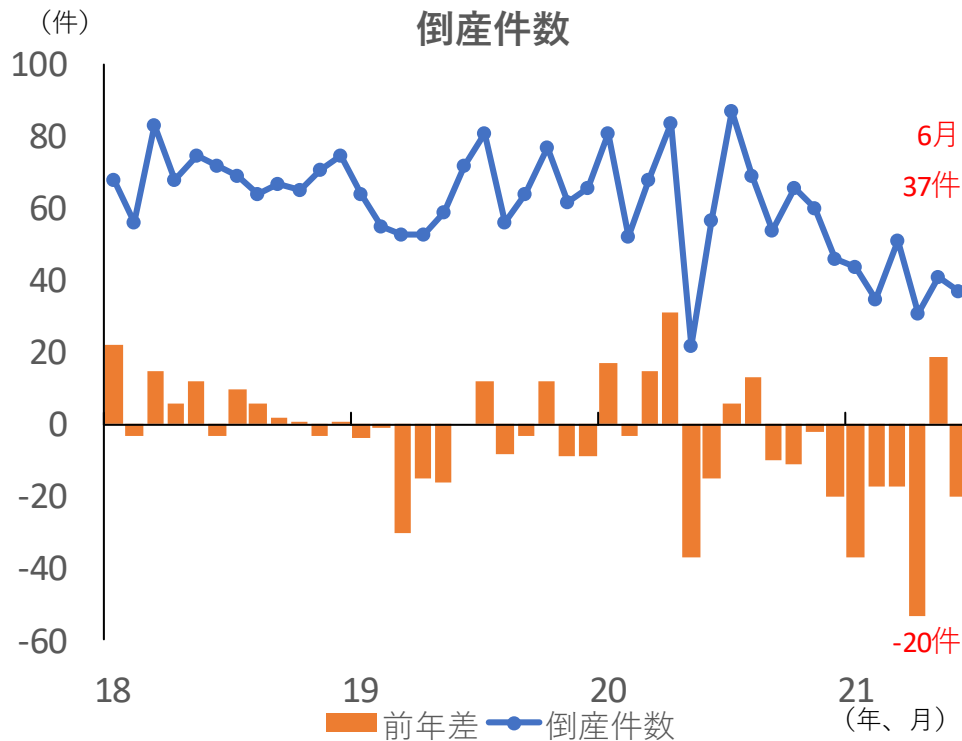


新設住宅着工戸数（前年比）



# 倒産

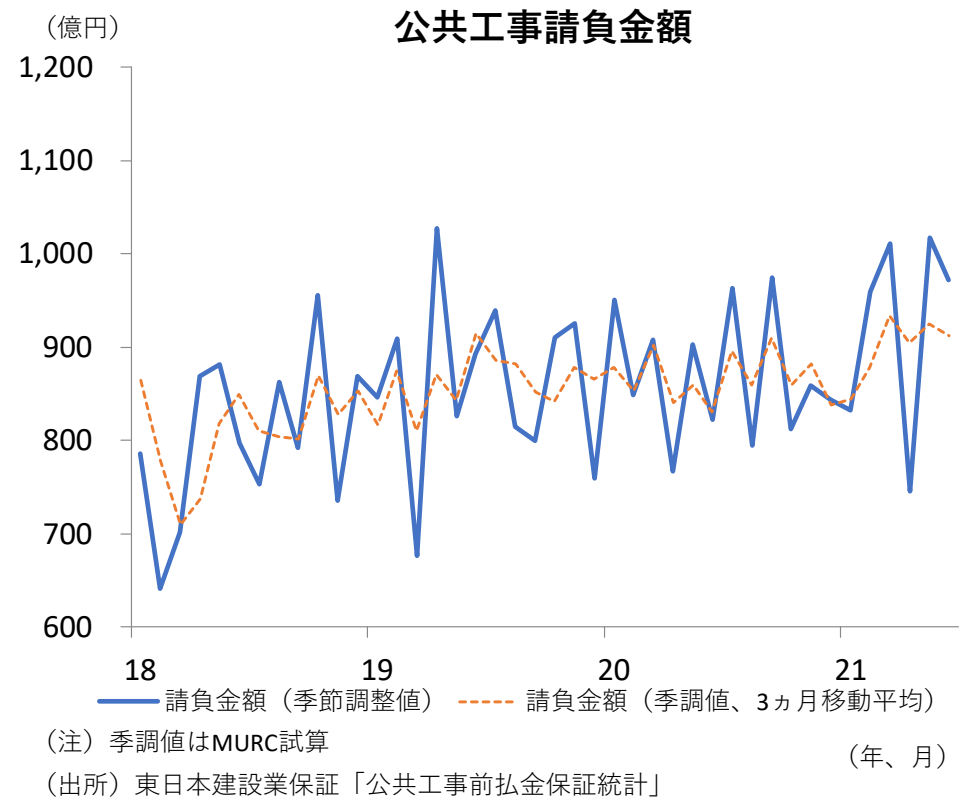
6月の倒産件数は37件と前年を下回り、低水準で推移している。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

# 公共投資

公共投資は均してみると横ばい圏で推移している。



(注) 季調値はMURC試算  
(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください